

子育てを応援する場所



多世代が交流する場所

4 班

ささえる



2024/8/23

# 私たちが考える石岡市の現状 ～ヒアリング～

昔と比べて今では子どもの発達状況にばらつきがあるがその状況を周りに相談できる環境がない

保育施設や学校の数是十分、待機児童もいない

祖父母世代が子育てを手伝ってくれやすい環境

給食が無償化されている



保健センターの方々



保育園長

足りない点として

保育・教育に携わる人材は明らかに不足

※責任回避の守りの保育ではない、

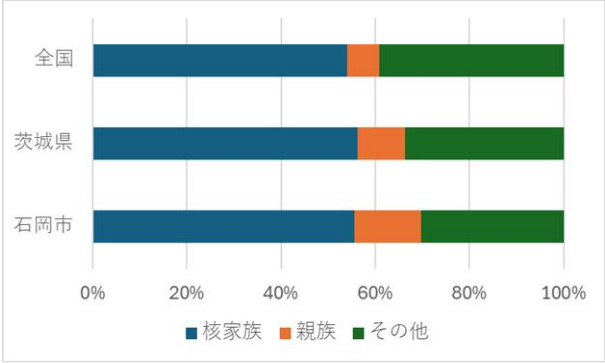
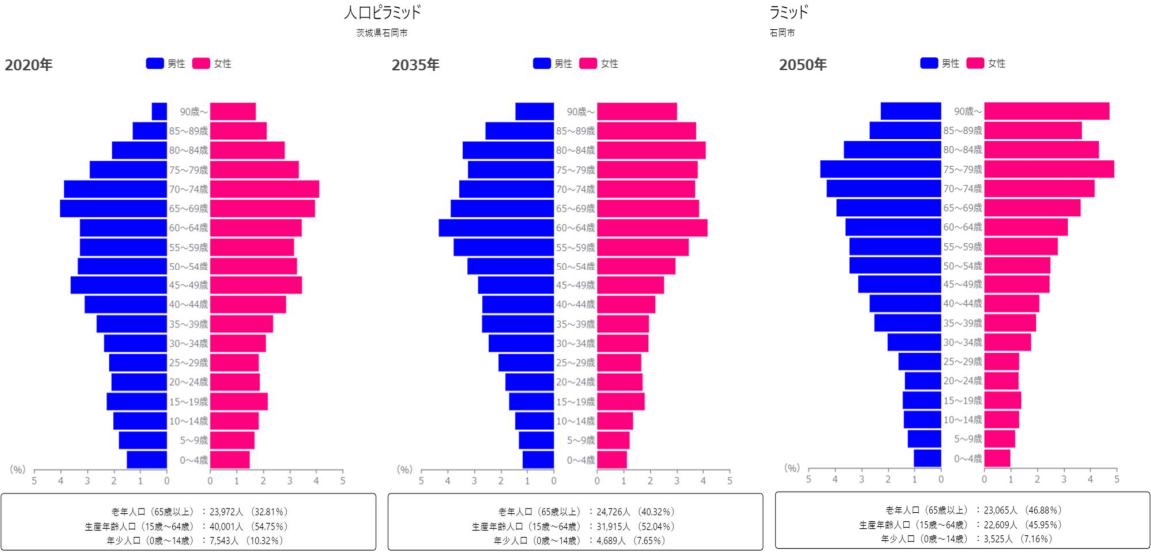
子どもに寄り添った保育をするなら倍は欲しい

※責任回避の守りの保育とは  
新しいことに挑戦しようせず  
いままでどおりのことをする  
る保育

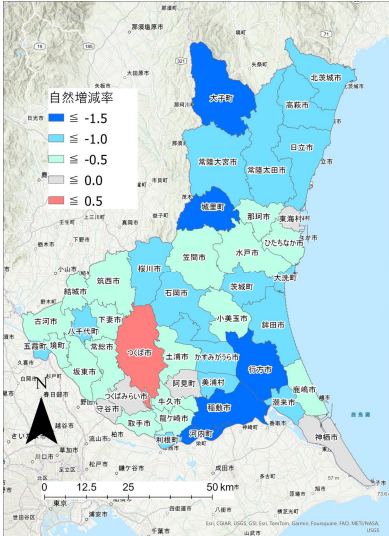


# 私たちが考える石岡市の現状 ～データ～

一緒に暮らしている世代



データから高齢者の割合が増え、子の割合が減っていくことが予想されている



## 私達が思う施設のあり方

石岡市の託児所はたくさんあるが保育士は足りない  
高齢者が子どもの面倒を見ることが  
多くなってきたるので**多世代の交流**を深め  
子育てを**応援できる場所**が必要だと思う  
いろいろな世代の人を集めて施設の  
使われ方を考えるために  
石岡市民の代表例を考える



# 山田君の生い立ち

30歳の男性で球技スポーツが好き  
石岡市在住で石岡市勤務  
現在は初めての子育て中  
これからの子育てについて考えたとき  
子どもの**成長と経験**を積むのを支援したい、  
**先人の知恵**を借りたい、活用したいと思った



## ○スポーツ教室

経験者からスポーツを教えてもらう教室を

**サブホール**で定期的開催

山田くんは経験者として仕事が休日のとき

サポート役として参加

他の保護者も集まるので、

保護者同士のお茶会をし仲を深めたり

**子どもについて相談できたりする場**としても使用できる



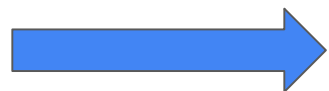
## 山田君の生い立ち～高齢者編～



65代前後 退職済み

孫が生まれました

子供、孫が市外に住んでおりたまに帰ってきてくれる



その際、孫に石岡を好きになってもらいたい  
また色々な経験をさせてあげたいと考えた

# 提灯づくりの会

年に2～3回ほど小さい子の  
提灯づくりを工作室で開催

それを通して**いろいろな世代**が  
子どもと触れ合う場を作り  
生徒や学生で保育士を目指す人や  
子供を支えたい人が  
小さい子と関われるようにする



提灯づくりによって...

石岡は暗い道が多いので  
提灯で足元を照らせるようにする

提灯づくりを毎年続けていくことで  
石岡市の文化のひとつになる

子供にとってもよい経験になる

山田くんは孫との思い出づくりができ  
孫にとっても良い思い出になった



# ご清聴ありがとうございました



# 参考資料

<https://photos.app.goo.gl/AcGB4tW4De2VcGSA9>

<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/jinko/nenpo/documents/nenpo-u-jinko05-houkokusyo.pdf>

国勢調査 令和2年国勢調査 人口等基本集計 （主な内容：男女・年齢・配偶関係，世帯の構成，住居の状態，母子・父子世帯，国籍など）

表9-1-1 世帯の家族類型，世帯員の年齢による世帯の種類別一般世帯数—全国，都道府県，市区町村

<https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003445284>